

10.13 人と自然との触れ合いの活動の場

調査区域には主要な人と自然との触れ合いの活動の場が存在し、道路の存在による活動内容への影響が考えられるため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査、予測及び評価を行いました。

10.13.1 道路（地表式又は嵩上式）の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場

1) 調査結果の概要

(1) 調査した情報

調査した情報は以下のとおりです。

a) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

- ・ 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の概況

b) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用状況、利用環境の状況

- ・ 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布
- ・ 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用の状況
- ・ 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用環境の状況

(2) 調査の手法

調査は既存資料調査及び現地調査により行いました。既存資料調査は既存の文献その他の資料による情報の収集及び当該情報の整理により行いました。また、現地調査は写真撮影により調査を行いました。利用状況や利用者数については、目視及びカウント、必要に応じて聞き取りを行いました。

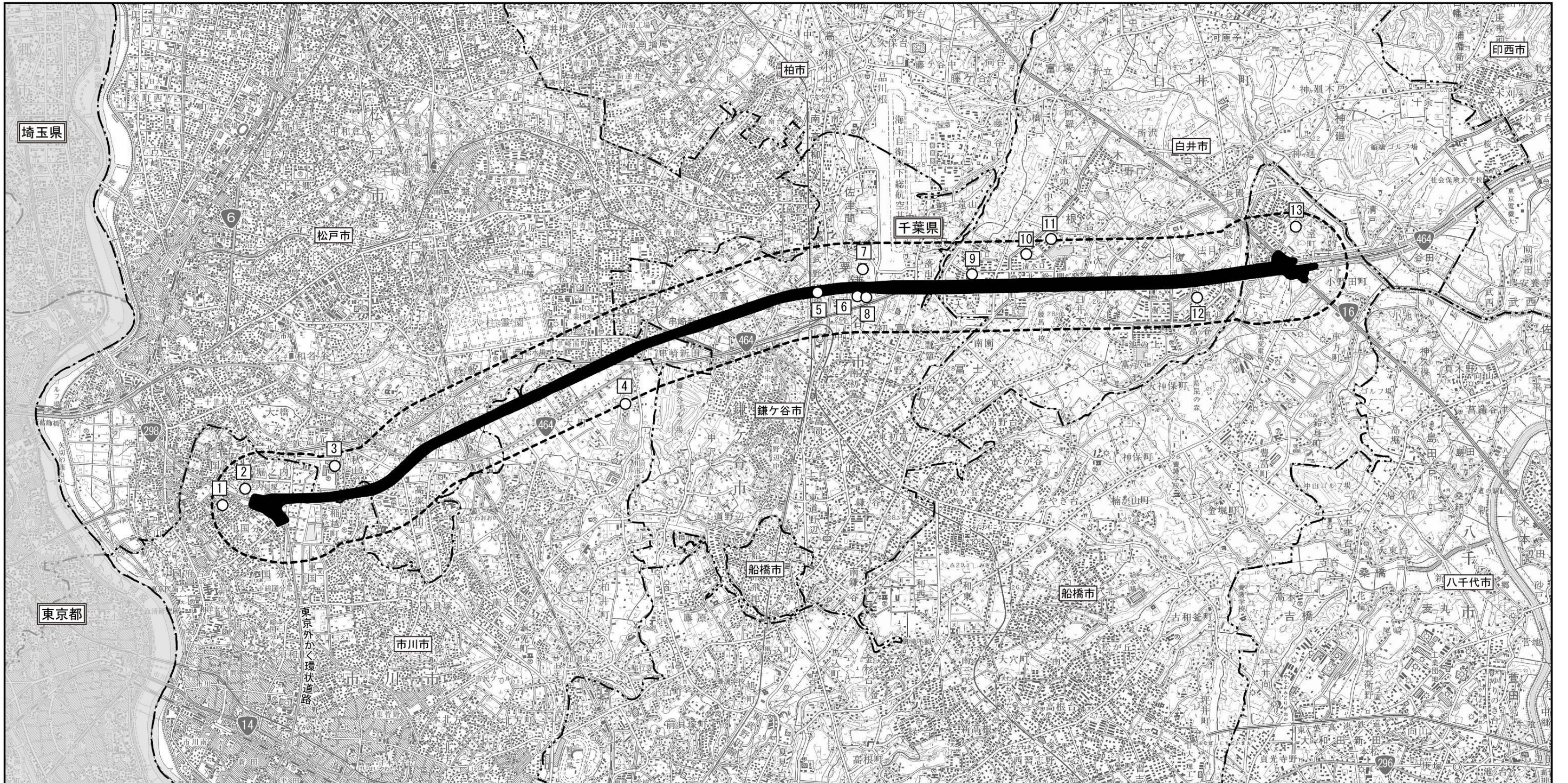
(3) 調査地域及び調査地点

調査地域は、計画路線から 500m 程度の範囲とし、主要な人と自然との触れ合いの活動の場が分布する地域としました。

調査地点は、人と自然との触れ合いの活動の場に供せられる施設又は場が存在する地点や計画路線に近接し影響が大きいと想定される地点等、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性や快適性に及ぼす影響を把握するために適切な地点を設定しました。主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点を表 10.13.1-1 及び図 10.13.1-1 に示します。

表 10.13.1-1 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の調査地点

番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	所在地	公園種別
1	小塚山公園	約 600m	市川市	地区公園
2	堀之内貝塚公園	約 340m	市川市	特殊公園
3	秋山湧水	約 400m	松戸市	—
4	大町自然公園	約 360m	市川市	総合公園
5	新鎌ふれあい公園	約 50m	鎌ヶ谷市	近隣公園
6	東部調整池	0m	鎌ヶ谷市	—
7	栗野地区公園	0m	鎌ヶ谷市	地区公園
8	市制記念公園	0m	鎌ヶ谷市	地区公園
9	中木戸公園	0m	白井市	近隣公園
10	七次第一公園	約 390m	白井市	近隣公園
11	七次川防災調節池	約 440m	白井市	—
12	南山公園	0m	白井市	地区公園
13	小室公園と小室調節池	約 170m	船橋市	近隣公園



凡 例

- 都市計画対象道路事業実施区域
- 都県界
- 市区界
- 人と自然との触れ合いの活動の場
- 人と自然との触れ合いの活動の場調査地域

この地図は、国土地理院発行の「1 : 50,000地形図、東京東北部（平成17年8月24日）・佐倉（平成10年9月1日）」を使用したものである。

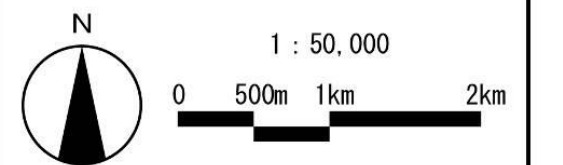


図 10.13.1-1
人と自然との触れ合いの活動の場
調査位置図

(4) 調査期間等

現地調査は、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の特性を踏まえて調査地域に係る環境影響を予測し、評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる期間に実施しました。調査期間を表 10.13.1-2 に示します。

表 10.13.1-2 人と自然との触れ合いの活動の場の調査期間

調査時期		調査の内容
冬季	平成 31 年 2 月 15 日(金) 平成 31 年 2 月 17 日(日) 平成 31 年 2 月 18 日(月) 平成 31 年 2 月 20 日(水)	平日・休日の利用状況調査として利用状況と利用者数調査を実施した。
春季	平成 31 年 3 月 31 日(日) 平成 31 年 4 月 2 日(火) 平成 31 年 4 月 3 日(水) 平成 31 年 4 月 4 日(木) 令和元年 5 月 26 日(日) 令和元年 5 月 30 日(木)	平日・休日の利用状況調査として利用状況と利用者数調査を実施した。
夏季	令和元年 7 月 25 日(木) 令和元年 7 月 31 日(水) 令和元年 8 月 4 日(日)	平日・休日の利用状況調査として利用状況と利用者数調査を実施した。
秋季	令和元年 9 月 6 日(金) 令和元年 10 月 20 日(日) 令和元年 10 月 24 日(木) 令和元年 11 月 20 日(水) 令和元年 11 月 29 日(金) 令和元年 12 月 1 日(日)	平日・休日の利用状況調査として利用状況と利用者数調査を実施した。

注 1) 環境影響評価における季節区分は、以下のとおりである。

夏季：6～8 月、秋季：9～11 月、冬季 12～2 月、春季：3～5 月

注 2) 秋季調査において、紅葉時期の調査として 12 月 1 日に調査を実施した。

(5) 調査結果

a) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の概況を表 10.13.1-3 に示します。

利用者数の結果は、資料編に示します。

表 10.13.1-3 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の概況

番号	調査地点の名称	計画路線からの距離	所在地	概況
1	小塚山公園	約 600m	市川市	北総地方の自然林があり、遊歩道が整備された公園
2	堀之内貝塚公園	約 340m	市川市	馬蹄形貝塚が、昭和 39 年に国指定史跡となり、その後一般市民に広く啓発する目的で環境整備された公園
3	秋山湧水	約 400m	松戸市	雑木林の斜面地から湧きでている湧水池
4	大町自然公園	約 360m	市川市	市川の最北端にある谷津田の景観を残した総合公園
5	新鎌ふれあい公園	約 50m	鎌ヶ谷市	「新鎌ヶ谷」駅北口から徒歩圏内の公園
6	東部調整池	0m	鎌ヶ谷市	水辺があり、鳥の飛来も見る事ができる調整池
7	栗野地区公園	0m	鎌ヶ谷市	ほとんどが自然林のまま残されている公園
8	市制記念公園	0m	鎌ヶ谷市	約 200 本の桜が植えられており、運動施設、展望台も整備された公園
9	中木戸公園	0m	白井市	西白井駅の西側に位置し、多目的競技広場やテニスコートの運動施設、子ども向けの遊具が整備された公園
10	七次第一公園	約 390m	白井市	西白井駅の北側に位置し、芝生広場や運動施設が整備された公園
11	七次川防災調節池	約 440m	白井市	1年を通して野鳥の観察ができ、冬には白鳥も飛来する調節池
12	南山公園	0m	白井市	調節池を公園にとり込んだダイナミックな景観の演出をテーマにした公園
13	小室公園と小室調節池	約 170m	船橋市	公園と調節池が併設されており、晩秋から冬にかけては水鳥の姿も観察できる

b) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用状況、利用環境の状況

各調査地の分布、利用状況、利用環境の状況の調査結果を表 10.13.1-4 に示す。

表 10.13.1-4(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果 (小塚山公園)

1 小塚山公園		
住所	市川市北国分 1-26	 <p>冬季調査 (平成 31 年 2 月 17 日撮影)</p>  <p>春季調査 (平成 31 年 3 月 31 日撮影)</p>  <p>夏季調査 (令和元年 7 月 31 日撮影)</p>  <p>秋季調査 (令和元年 11 月 29 日撮影)</p>
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線北国分駅 徒歩で約 13 分 ・JR 総武本線市川駅北口から「松戸車庫」行きバス 「栗山」下車 徒歩約 10 分 ・駐車場なし 	
面積延長	面積：約 2.7ha	
利用期間	通年	
活動内容	散策、自然観察等	
施設概要	住宅街の中に位置している、緑豊かな公園。遊歩道や案内看板、東屋、ベンチが整備されており、森林浴を楽しむことができる。	
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・園内には、シラカシ・イヌシデ・クヌギ等の雑木が密生した典型的な北総地方の自然林である市民の森があり、森の中には遊歩道が設けられている。 	
計画路線の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・公園は周囲を樹林に囲まれているため、木々の間から園外を見通すことはほとんど出来ない。公園からは、計画路線は視認されない。 	
実施区域との位置関係	実施区域から約 600m 西側に位置する。	

表 10.13.1-4(2) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（堀之内貝塚公園）

2 堀之内貝塚公園		
住所	市川市堀之内 2-2899	 <p>冬季調査（平成 31 年 2 月 15 日撮影）</p>  <p>春季調査（平成 31 年 4 月 3 日撮影）</p>  <p>夏季調査（令和元年 7 月 31 日撮影）</p>  <p>秋季調査（令和元年 11 月 29 日撮影）</p>
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線北国分駅から徒歩約 8 分 ・JR 総武本線市川駅北口からバス「博物館入口」下車徒歩 10 分 ・駐車場あり（数台） 	
面積延長	面積：約 3.2ha	
利用期間	通年	
活動内容	散策、自然観察等	
施設概要	<p>馬蹄形貝塚が、昭和 39 年に国指定史跡となり、その後一般市民に広く啓発する目的で環境整備された公園。</p> <p>史跡堀之内貝塚の碑、散策コース、駒形様のほこら、芝生の広場、市川考古博物館（隣接）、市川歴史博物館（隣接）、駐車場が整備されている。</p>	
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の周囲の大部分が林になっていて、植物や野鳥の観察に適している。 ・公園内は遊歩道も整備されていて、散策を楽しむことができる。 	
計画路線の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・公園は丘陵地に位置しており、計画路線方向を見下ろすことができます。計画路線の一般部（平面構造）を視認することができます。 	
実施区域との位置関係	実施区域から約 340m 北西側に位置する。	

表 10.13.1-4(3) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（秋山湧水）

3 秋山湧水	
住所	松戸市秋山 341-1
交通	・JR 常磐線松戸駅西口から聖徳学園行きバス「聖徳学園」下車徒歩約3分
面積延長	面積：約 25m ²
利用期間	通年
活動内容	—
施設概要	<p>雑木林の斜面地から湧きでている湧水池で、愛護団体により花壇が整備されている。現在は柵で囲まれており、湧水に直接触れることはできない。</p> <p>以前には、雑木林沿いの湧水にホタルが多く生息していたと言われている。</p>
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・遊水池、案内看板が整備されている。 ・現地調査において、利用者は確認されなかった。
計画路線の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地は周囲を竹林・樹林に囲まれており、計画路線は視認されない。
実施区域との位置関係	実施区域から約 400m 北側に位置する。



秋季調査（令和元年9月6日撮影）

表 10.13.1-4(4) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（大町自然公園）

4 大町自然公園		
住所	市川市大町 284	 <p>冬季調査（平成 31 年 2 月 17 日撮影）</p>  <p>春季調査（令和元年 5 月 26 日撮影）</p>  <p>夏季調査（令和元年 7 月 25 日撮影）</p>  <p>秋季調査（令和元年 11 月 29 日撮影）</p>
交通	<p>【鉄道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線大町駅から徒歩 3 分 ・JR 武蔵野線市川大野駅から約 30 分 <p>【バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR 武蔵野線市川大野駅から約 15 分 <p>【車】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京葉道路原木 IC より約 20 分 ・駐車場あり（収容台数：240 台） 	
面積延長	面積：約 9.8ha	
利用期間	年末年始は休業	
活動内容	散策、自然観察、ホタル観賞会等	
施設概要	市川の最北端にある谷津田の景観を残した総合公園。 公園内は、約 2km の遊歩道や、自然観察園、バラ園、水生植物園が整備されている。	
利用環境	・遊歩道では森林浴を楽しめる他、自然観察園等では、多彩な動植物を観察することができ、夏には「ホタル観賞会」が開催されている。	
計画路線の視認性	・公園は樹林に囲まれており、計画路線は視認されない。	
実施区域との位置関係	実施区域から約 360m 南側に位置する。	

表 10.13.1-4(5) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（新鎌ふれあい公園）

5 新鎌ふれあい公園		
住所	鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 2-20-1	 <p>冬季調査（平成 31 年 2 月 18 日撮影）</p>  <p>春季調査（平成 31 年 4 月 2 日撮影）</p>  <p>夏季調査（令和元年 7 月 31 日撮影）</p>  <p>秋季調査（令和元年 11 月 29 日撮影）</p>
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・新京成電鉄新京成線・東武鉄道野田線・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線新鎌ヶ谷駅から徒歩 5 分 ・駐車場（車椅子専用 4 台） 	
面積延長	面積：約 1.1ha	
利用期間	通年	
活動内容	散策、自然観察等	
施設概要	<p>「新鎌ヶ谷」駅北口から徒歩圏内の公園。</p> <p>公園の周囲は遊歩道で囲まれており、多目的広場、子ども向け広場、ふれあい広場の 3 ゾーンに分かれている。子ども向け広場には遊具も整備されている。</p> <p>商業施設から近いこともあり、利用者は多く確認される。</p> <p>園路は車いすで通行できるよう整備されており、敷地内には、トイレ、ベンチも整備されている。</p>	
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内には桜も植栽されている。 	
計画路線の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・計画路線は対象地の北側を高架構造で通過することから、計画路線を視認することができる。 	
実施区域との位置関係	計画路線は約 50m 北側に位置する。	

表 10.13.1-4(6) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（東部調整池）

6 東部調整池	
住所	鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 4-15
交通	・新京成電鉄新京成線・東武鉄道野田線・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線新鎌ヶ谷駅から徒歩 12 分
面積延長	面積：約 2.1ha
利用期間	通年
活動内容	散策等
施設概要	市制記念公園に隣接する調整池。水辺では、鳥の飛来も見ることができ、鎌ヶ谷市内のビューポイントとなっている。
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内には散策路が整備されている。 夏季調査において、利用者は確認されなかった。
計画路線の視認性	・調整池の北側を計画路線が高架で通過することから、計画路線が視認される。
実施区域との位置関係	計画路線は敷地の北側に面しており、一般部から直接入場することができる。



冬季調査（平成 31 年 2 月 18 日撮影）



春季調査（平成 31 年 3 月 31 日撮影）



秋季調査（令和元年 11 月 20 日撮影）

表 10.13.1-4(7) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（栗野地区公園）

7 栗野地区公園		
住所	鎌ヶ谷市栗野字上葉貫台 745-1	
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・新京成電鉄新京成線・東武鉄道野田線・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線新鎌ヶ谷駅から徒歩約 22 分 ・駐車場（普通 13 台） 	
面積延長	面積：約 11ha	
利用期間	通年	
活動内容	散策、サイクリング、自然観察等	
施設概要	<p>栗野地区公園はそのほとんどが自然林のまま残されている公園。かつて民有地だった頃、ごみの不法投棄などで荒れた場所だったそうである。森の保全を目指し平成 13 年に「栗野の森の会」を結成。市と話し合いを進めて公園とすることが決まり、平成 26 年に栗野地区公園として整備された。</p>	
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・園内には、散策路が整備されている。 	
計画路線の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内は樹林により見通しは悪いが、計画路線が高架構造で通過することから、公園入口等から、計画路線が視認されるおそれがある。 	
実施区域との位置関係	<p>計画路線は敷地の南側に面しており、計画路線南側から高架下を通過して入場することができる。</p>	<p>冬季調査（平成 31 年 2 月 17 日撮影）</p> <p>春季調査（平成 31 年 4 月 2 日撮影）</p> <p>夏季調査（令和元年 7 月 31 日撮影）</p> <p>秋季調査（令和元年 12 月 1 日撮影）</p>

表 10.13.1-4(8) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（市制記念公園）

8 市制記念公園		
住所	鎌ヶ谷市初富 924-6	 <p>冬季調査（平成 31 年 2 月 17 日撮影）</p>
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・新京成電鉄新京成線・東武鉄道野田線・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線新鎌ヶ谷駅から徒歩 15 分 ・駐車場（普通 100 台） 	
面積延長	面積：約 5.8ha	
利用期間	通年	
活動内容	散策、自然観察、花見、遊具利用等	 <p>春季調査（平成 31 年 3 月 31 日撮影）</p>  <p>夏季調査（令和元年 8 月 4 日撮影）</p>  <p>秋季調査（令和元年 12 月 1 日撮影）</p>
施設概要	市制記念公園には約 200 本の桜が植えられている。入口には蒸気機関車や飛行機が展示してあるほか、バッテリーカー（有料）や船の形のアスレチックなどの、子供が遊べる施設がある。他に、予約制の野球場やテニスコートといった運動施設も備えている。	
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・公園には、約 200 本の桜が植えられている。 ・また、園内奥には県内各市の樹が植えられており、遊具もある。 ・管理事務所には展望台があり、周辺の眺望を楽しめる。 	
計画路線の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・管理事務所の展望台から、周辺の眺望を眺めることができる。計画路線は、野球場の奥を通過するが、園内の木々に遮られ、展望台から計画路線は視認されない。 ・ただし、公園の北側からは、計画路線が視認される。 	
実施区域との位置関係	計画路線は敷地の北側に面しており、国道 464 号から直接入場することができる。	

表 10.13.1-4(9) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（中木戸公園）

9 中木戸公園		
住所	白井市大山口 1-26	 <p>冬季調査（平成 31 年 2 月 18 日撮影）</p>
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線西白井駅から徒歩約 10 分 ・駐車場（普通 23 台） 	
面積延長	面積：約 2.3ha	
利用期間	通年	
活動内容	散策、スポーツ等	
施設概要	<p>西白井駅の西側に位置する中木戸公園は、多目的競技広場やテニスコートの運動施設があるほか、子ども向けの遊具のある広場もある。</p> <p>遊歩道、ベンチ、トイレも整備されている。</p>	 <p>春季調査（平成 31 年 3 月 31 日撮影）</p>
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の周囲に遊歩道が整備されており、散策を楽しむことができる。 	
計画路線の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・計画路線は敷地の南側に面しているが、一般部、専用部ともに一段低い位置を通過することから、公園内から計画路線は視認されない。 	 <p>夏季調査（令和元年 7 月 31 日撮影）</p>
実施区域との位置関係	<p>計画路線は敷地の南側に面している。</p>	

表 10.13.1-4(10) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（七次第一公園）

10 七次第一公園		
住所	白井市清水口 2-2	 <p>冬季調査（平成 31 年 2 月 18 日撮影）</p>
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線西白井駅から徒歩約 5 分 ・駐車場なし 	
面積延長	面積：約 2.5ha	
利用期間	通年	
活動内容	散策、自然観察、花見等	
施設概要	<p>西白井駅の北側に位置する七次第一公園は、大きな芝生広場とテニスコートがあるほか、公園の近くに白鳥の訪れる調節池もあり、園内には梅や杉を植えた築山が豊かな緑を提供している。春になると満開の桜を芝生広場で見ることができる。</p> <p>公園内にはトイレ、屋根付休憩所も整備されている。</p>	 <p>春季調査（平成 31 年 4 月 2 日撮影）</p>
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・園内には、テニスコート、芝生広場、築山があり、散策や自然観察を楽しむことができる。 	
計画路線の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅街の中に整備された公園であり、周囲を建物に囲まれているため、計画路線は視認できない。 	
実施区域との位置関係	実施区域から約 390m 北側に位置する。	 <p>秋季調査（令和元年 12 月 1 日撮影）</p>

表 10.13.1-4(11) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（七次川防災調節池）

11 七次川防災調節池	
住所	白井市清水口 3-36
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線西白井駅から徒歩約15分 ・駐車場なし
面積延長	面積：約 5.9ha
利用期間	通年
活動内容	野鳥観察
施設概要	<p>七次川防災調節池は白鳥が飛来する。調節池に飛来または定着している鳥には多くの種類が確認され、1年を通して見られる鳥もいる。</p>
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・調節池の周囲にはフェンスが設置されており、野鳥観察はフェンスの外側から行う。 ・夏季調査において、利用者はほとんど確認されなかった。
計画路線の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅街の中に整備された調節池であり、周囲を建物に囲まれているため、計画路線は視認できない。
実施区域との位置関係	<p>実施区域から約440m北側に位置する。</p>



冬季調査（平成31年2月18日撮影）



春季調査（平成31年3月31日撮影）



秋季調査（令和元年11月29日撮影）

表 10.13.1-4(12) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（南山公園）

12 南山公園		
住所	白井市南山 1-4	 <p>冬季調査（平成 31 年 2 月 18 日撮影）</p>  <p>春季調査（平成 31 年 4 月 2 日撮影）</p>  <p>夏季調査（令和元年 8 月 4 日撮影）</p>  <p>秋季調査（令和元年 12 月 1 日撮影）</p>
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線白井駅から徒歩 5 分 ・駐車場（普通 42 台） 	
面積延長	面積：約 7.7ha	
利用期間	通年	
活動内容	散策、自然観察、花見等	
施設概要	<p>南山公園は、「調節池を公園にとり込んだダイナミックな景観の演出」をテーマとしている。中心に調節池を配置した造りになっているため、遊歩道を周遊しながら散策を楽しめ、水鳥の観察にも適している。他にも、予約制の野球場やテニスコートといった運動施設も備えている。桜の時期には、調節池にかかる橋からの眺めが絶景。</p>	
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道、野球場、テニスコート、親水広場、東屋、調節池が整備されている。 ・トイレ、駐車場も整備されている。 	
計画路線の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・公園北側が計画路線（一般部）に面しており、計画路線が視認される。ただし、新設される専用部は一般部より低い位置を通過することから、視認されない。 	
実施区域との位置関係	<p>計画路線は敷地の北側に面している。</p>	

表 10.13.1-4(13) 人と自然との触れ合いの活動の場の調査結果（小室公園と小室調節池）

13 小室公園と小室調節池		
住所	船橋市小室町 3313	 <p>冬季調査（平成 31 年 2 月 18 日撮影）</p>
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・北総鉄道北総線・京成電鉄成田空港線小室駅から徒歩約 5 分 ・駐車場あり 	
面積延長	面積：約 7.3ha	
利用期間	通年	
活動内容	散策、自然観察、花見等	 <p>春季調査（平成 31 年 4 月 2 日撮影）</p>  <p>夏季調査（令和元年 7 月 31 日撮影）</p>  <p>秋季調査（令和元年 12 月 1 日撮影）</p>
施設概要	<p>公園と調節池が併設されており、晩秋から冬にかけては水鳥の姿も観察できる。野球場（要予約）、陸上競技場、遊具広場を備えている。夏季にはグラウンドを使い盆踊り大会が開かれる。</p> <p>グラウンド、陸上競技場、野球場、遊具広場、遊歩道、駐車場、トイレ、ベンチも整備されている。</p>	
利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道、芝生広場が整備されており、散策や自然観察を楽しむことができる。 ・調節池では、各種水鳥の姿も観察できる。 	
計画路線の視認性	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅街の中に整備された公園であり、周囲を樹林、建物に囲まれているため、計画路線は視認されない。 	
実施区域との位置関係	実施区域から約 170m 北側に位置する。	

2) 予測の結果

(1) 予測の手法

道路（地表式又は嵩上式）の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場の予測は、「道路環境影響評価の技術手法 国土技術政策総合研究所資料第 714 号」（平成 25 年 3 月 国土技術政策総合研究所）に基づいて行いました。

a) 予測手順

道路（地表式又は嵩上式）の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場の予測は、以下に示す項目毎に行いました。

(a) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変

主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取りまく自然資源と計画路線を重ね合わせ、図上解析することにより、改変の有無を検討しました。

(b) 利用性の変化

ア. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用の支障の有無、支障が生じる箇所等を把握するとともに、利用人数の変化を把握しました。

イ. 主要な人と自然との触れ合いの活動の場への到達時間・距離の変化

近傍の既存道路の改変の状況より、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への到達時間・距離の変化を把握しました。

(c) 快適性の変化

主要な人と自然との触れ合いの活動の場から認識される近傍の風景の変化が生じる位置・程度を把握しました。

b) 予測地域及び予測地点の選定

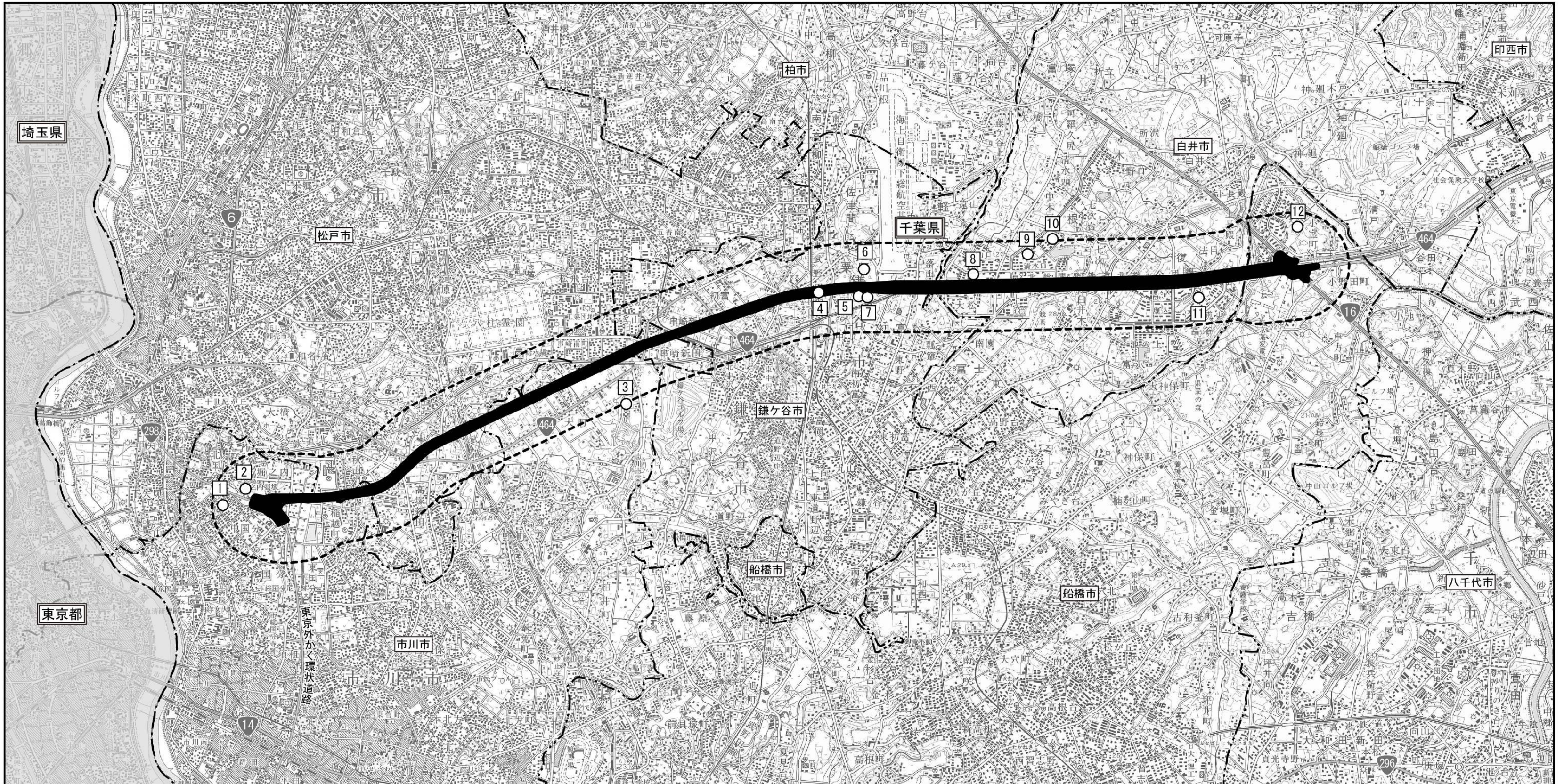
道路（地表式又は嵩上式）の存在に係る予測地域は、調査地域のうち、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取りまく自然資源の改変、または主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性、到達時間・距離、快適性のいずれかに変化が生じると想定される地域とし、人と自然との触れ合いの活動の内容を勘案し、計画路線からの距離が概ね 500m 程度の範囲としました。なお、現地調査の結果から、人と自然との触れ合いの活動が確認されなかった秋山湧水については予測地点として選定しないこととしました。予測地点を表 10. 13. 1-5 及び図 10. 13. 1-2 に示します。





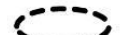
表 10.13.1-5 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の予測地点

番号	調査地点の名称
1	小塚山公園
2	堀之内貝塚公園
3	大町自然公園
4	新鎌ふれあい公園
5	東部調整池
6	栗野地区公園
7	市制記念公園
8	中木戸公園
9	七次第一公園
10	七次川防災調節池
11	南山公園
12	小室公園と小室調節池

c) 予測対象時期

道路（地表式又は嵩上式）の存在に係る予測対象時期は、計画路線の完成時及び工事施工ヤードの設置が想定される時期において、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用がある時期としました。



- 凡例
-  都市計画対象道路事業実施区域
 -  都県界
 -  市区界
 -  人と自然との触れ合いの活動の場
 -  人と自然との触れ合いの活動の場予測地域

この地図は、国土地理院発行の「1：50,000地形図、東京東北部（平成17年8月24日）・佐倉（平成10年9月1日）」を使用したものである。

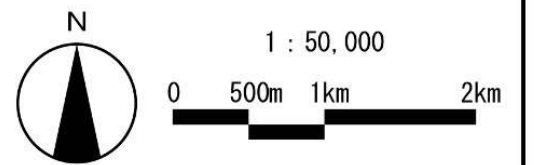


図10.13.1-2
人と自然との触れ合いの活動の場
予測位置図

(2) 予測結果

道路（地表式又は嵩上式）の存在及び工事施工ヤードに係る各予測地点による予測結果を表 10.13.1-6 に示します。

表 10.13.1-6(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（小塚山公園）


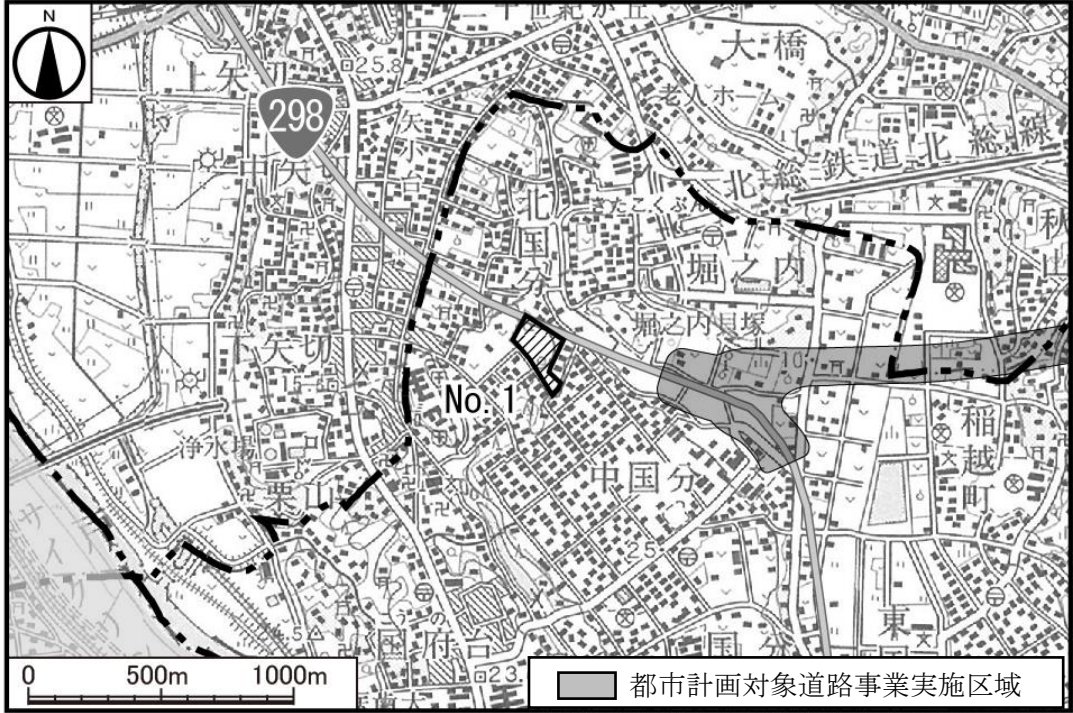
施設概要		
<p>住宅街の中に位置している、緑豊かな公園。遊歩道や案内看板、東屋、ベンチが整備されており、森林浴を楽しむことができる。</p> 		
予測項目	予測結果	
主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変	主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。	
利用性の 変化	利用性の 変化	散策、自然観察等の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。
	到達時間・ 距離の変化	事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間は基本的に変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化が生じるおそれは低いと予測される。
快適性の変化	公園内から計画路線が視認できないことから、快適性の変化が生じるおそれはないと予測される。	
		

表 10.13.1-6(2) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（堀之内貝塚公園）

施設概要	
<p>馬蹄形貝塚が、昭和 39 年に国指定史跡となり、その後一般市民に広く啓発する目的で環境整備された公園。</p> <p>史跡堀之内貝塚の碑、散策コース、駒形様のほこら、芝生の広場、市川考古博物館（隣接）、市川歴史博物館（隣接）、駐車場が整備されている。</p>	
	
予測項目	予測結果
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。</p>
<p>利用性の変化</p>	<p>散策、自然観察等の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>利用性の変化</p>	<p>事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間は基本的に変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化が生じるおそれは低いと予測される。なお、事業により広域的な利用者の増加も期待できる。</p>
<p>快適性の変化</p>	<p>公園は丘陵地に位置しており、公園内の一部のエリアで計画路線方向を見下ろすことが出来るため、計画路線の一般部（平面構造）を視認することができ、一部風景の変化が生じる。</p> <p>ただし、雰囲気阻害する区間は部分的であり、公園内において快適性の変化が生じるおそれはないと予測される。</p>
	

表 10.13.1-6(3) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（大町自然公園）

施設概要	
<p>市川の最北端にある谷津田の景観を残した総合公園。 公園内は、約 2km の遊歩道や、自然観察園、バラ園、水生植物園が整備されている。</p> 	
予測項目	予測結果
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。</p>
<p>利用性の変化</p>	<p>散策、自然観察、ホテル観賞等の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>到達時間・距離の変化</p>	<p>事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間は基本的に変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化が生じるおそれは低いと予測される。なお、事業により広域的な利用者の増加も期待できる。</p>
<p>快適性の変化</p>	<p>公園内から計画路線が視認できないことから、快適性の変化が生じるおそれはないと予測される。</p>
	

表 10.13.1-6(4) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（新鎌ふれあい公園）

施設概要	
<p>「新鎌ヶ谷」駅北口から徒歩圏内の公園。 公園の周囲は遊歩道で囲まれており、多目的広場、子ども向け広場、ふれあい広場の3ゾーンに分かれている。子ども向け広場には遊具も整備されている。 商業施設から近いこともあり、利用者は多く確認される。 園路は車いすで通行できるよう整備されており、敷地内には、トイレ、ベンチも整備されている。</p>	
	
予測項目	予測結果
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。</p>
<p>利用性の変化</p>	<p>散策、自然観察等の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>到達時間・距離の変化</p>	<p>事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間はほとんど変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>快適性の変化</p>	<p>計画路線は、公園の約50m北側を高架構造で通過することから、風景の変化が生じる。公園内には桜が植栽されており、桜の奥に計画路線が視認されることになるため、快適性に変化が生じると予測される。</p>
	

表 10.13.1-6(5) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（東部調整池）


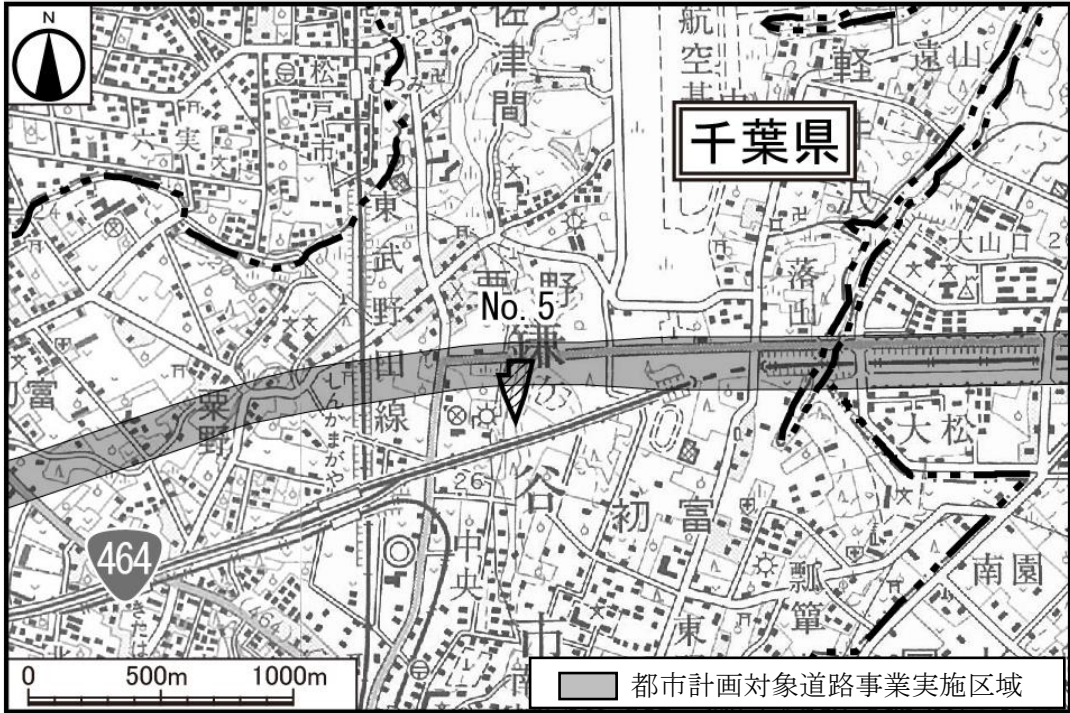
施設概要	
<p>市制記念公園に隣接する調整池。水辺では、鳥の飛来も見ることができ、鎌ヶ谷市内のビューポイントとなっている。</p> 	
予測項目	予測結果
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。</p>
<p>利用性の変化</p>	<p>散策等の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。</p>
	<p>事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間は基本的に変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>快適性の変化</p>	<p>計画路線は、調整池の北側を高架で通過することから、風景の変化が生じる。公園内の散策路から計画路線が視認されることになるため、快適性に変化が生じると予測される。</p>
	

表 10.13.1-6(6) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（栗野地区公園）


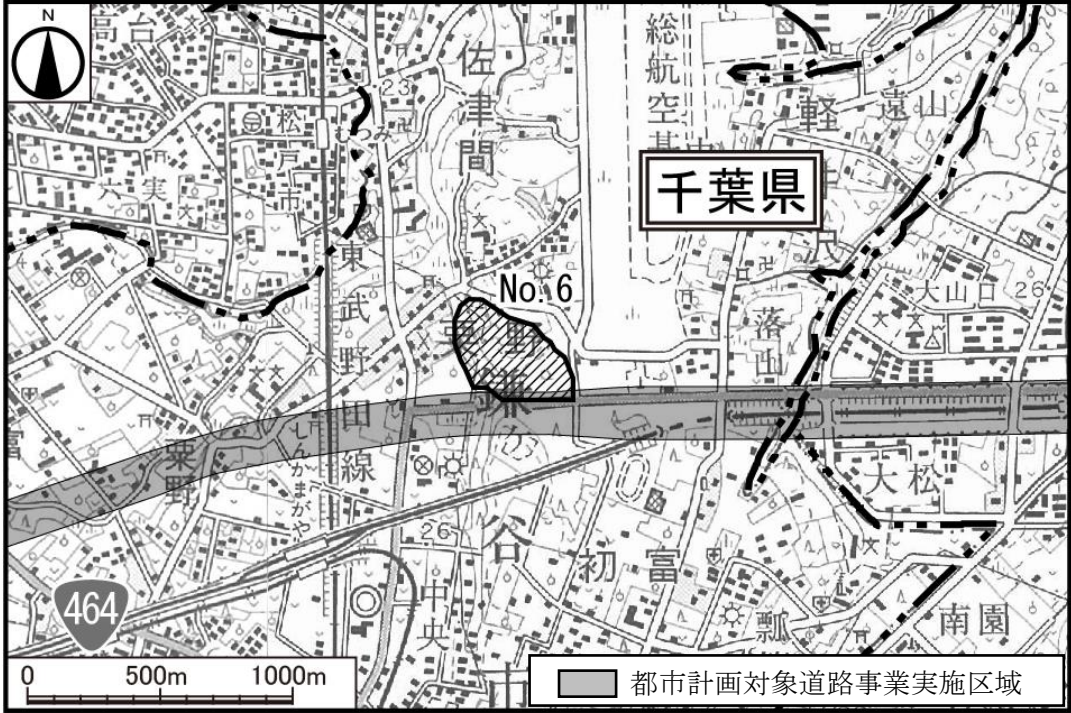
施設概要	
<p>栗野地区公園はそのほとんどが自然林のまま残されている公園。かつて民有地だった頃、ごみの不法投棄などで荒れた場所だったそうである。森の保全を目指し平成13年に「栗野の森の会」を結成。市と話し合いを進めて公園とすることが決まり、平成26年に栗野地区公園として整備された。</p>	
	
予測項目	予測結果
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。</p>
<p>利用性の 変化</p>	<p>散策、サイクリング、自然観察等の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>到達時間・ 距離の変化</p>	<p>事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間は基本的に変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化による影響が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>快適性の変化</p>	<p>計画路線は敷地の南側に面しており、計画路線南側から高架下を通過して入場することができる。 公園内は樹林により見通しは悪いが、計画路線が高架構造で通過することから、公園入口等では一部風景の変化が生じる可能性がある。しかし、計画路線は既存の橋梁の間に配置されることから、快適性の変化が生じるおそれはないと予測される。</p>
	

表 10.13.1-6(7) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（市制記念公園）

施設概要	
<p>市制記念公園には約 200 本の桜が植えられている。入口には蒸気機関車や飛行機が展示してあるほか、バッテリーカー（有料）や船の形のアスレチックなどの、子供が遊べる施設がある。他に、予約制の野球場やテニスコートといった運動施設も備えている。</p>	
	
予測項目	予測結果
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。</p>
<p>利用性の 変化</p>	<p>散策、自然観察、花見、遊具利用等の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>到達時間・ 距離の変化</p>	<p>事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間は基本的に変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化による影響が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>快適性の変化</p>	<p>計画路線は、公園の北側を高架で通過するが、展望台から計画路線は視認されない。ただし、公園の北端部の出入口からは、計画路線が視認されるおそれがあり、一部風景の変化が生じる。ただし、雰囲気阻害する区間は部分的であるため、快適性の変化が生じるおそれはないと予測される。</p>
	

表 10.13.1-6(8) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（中木戸公園）


施設概要	
<p>西白井駅の西側に位置する中木戸公園は、多目的競技広場やテニスコートの運動施設があるほか、子ども向けの遊具のある広場もある。 遊歩道、ベンチ、トイレも整備されている。</p> 	
予測項目	予測結果
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。</p>
<p>利用性の 変化</p>	<p>散策、スポーツ等の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>利用性の 変化</p>	<p>事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間は基本的に変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>快適性の変化</p>	<p>計画路線は、公園の南側を通過するが、一般部、専用部ともに一段低い位置を通過するため、公園内から計画路線は視認できない。このため、快適性の変化が生じるおそれはないと予測される。</p>
	

表 10.13.1-6(9) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（七次第一公園）

施設概要	
<p>西白井駅の北側に位置する七次第一公園は、大きな芝生広場とテニスコートがあるほか、公園の近くに白鳥の訪れる調節池もあり、園内には梅や杉を植えた築山が豊かな緑を提供している。春になると満開の桜を芝生広場で見ることができる。</p> <p>公園内にはトイレ、屋根付休憩所も整備されている。</p>	
	
予測項目	予測結果
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。</p>
<p>利用性の 変化</p>	<p>散策、自然観察、花見等の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>利用性の 変化</p>	<p>事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間は基本的に変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>快適性の変化</p>	<p>公園内から計画路線が視認できないことから、快適性の変化が生じるおそれはないと予測される。</p>
	

表 10.13.1-6(10) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（七次川防災調節池）

施設概要	
<p>七次川防災調節池は白鳥が飛来する。調節池に飛来または定着している鳥には多くの種類が確認され、1年を通して見られる鳥もいる。</p> 	
予測項目	予測結果
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。</p>
<p>利用性の 変化</p>	<p>利用性の 変化</p> <p>野鳥観察の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。</p>
	<p>到達時間・ 距離の変化</p> <p>事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間は基本的に変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>快適性の変化</p>	<p>公園内から計画路線が視認できないことから、快適性の変化が生じるおそれはないと予測される。</p>
	

表 10.13.1-6(11) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（南山公園）


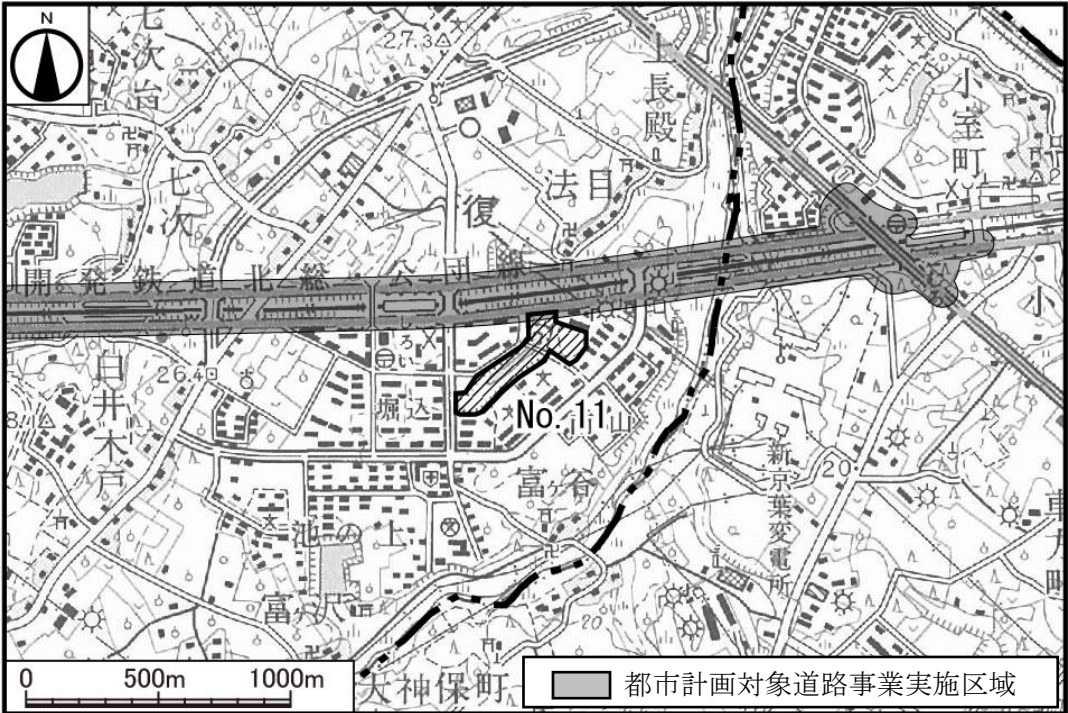
施設概要	
<p>南山公園は、「調節池を公園にとり込んだダイナミックな景観の演出」をテーマとしている。中心に調節池を配置した造りになっているため、遊歩道を周遊しながら散策を楽しめ、水鳥の観察にも適している。他にも、予約制の野球場やテニスコートといった運動施設も備えている。桜の時期には、調節池にかかる橋からの眺めが絶景。</p>	
	
予測項目	予測結果
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。</p>
<p>利用性の 変化</p>	<p>散策、自然観察、花見等の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>利用性の 変化</p>	<p>事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間は基本的に変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>快適性の変化</p>	<p>計画路線は、公園の北側を通過するが、新設される専用部は視認できない。このため、風景の変化はほとんど生じず、快適性の変化が生じるおそれはないと予測される。</p>
	

表 10.13.1-6(12) 人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果（小室公園と小室調節池）

施設概要	
<p>公園と調節池が併設されており、晩秋から冬にかけては水鳥の姿も観察できる。野球場（要予約）、陸上競技場、遊具広場を備えている。夏季にはグラウンドを使い盆踊り大会が開かれる。</p> <p>グラウンド、陸上競技場、野球場、遊具広場、遊歩道、駐車場、トイレ、ベンチも整備されている。</p>	
	
予測項目	予測結果
<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変</p>	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場の地形の改変はない。</p>
<p>利用性の変化</p>	<p>散策、自然観察、花見等の主な利用は公園内の施設に限られることから、利用に支障が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>到達時間・距離の変化</p>	<p>事業による活動の場への到達経路の分断は原則行われぬ。また、事業による活動の場への到達時間は基本的に変化しないと考えられる。このため、到達時間・距離の変化が生じるおそれは低いと予測される。</p>
<p>快適性の変化</p>	<p>公園内から計画路線が視認できないことから、快適性の変化が生じるおそれはないと予測される。</p>
	

3) 環境保全措置の検討

(1) 環境保全措置の検討

予測結果より、道路（地表式又は嵩上式）の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減するための環境保全措置について、保全措置の効果や不確実性、他の環境への影響を含め検討した結果、「構造物（橋梁等）の形式、デザイン、色彩の配慮」及び「道路付属物（照明ポール、立入防止柵等）の形状、デザイン、色彩の配慮」を採用します。

検討した環境保全措置を表 10.13.1-7 に示します。

表 10.13.1-7 環境保全措置の検討

環境保全措置	対象とした人と自然の触れ合いの活動の場	採用・不採用	採用・不採用の理由
構造物（橋梁等）の形式、デザイン、色彩の配慮	新鎌ふれあい公園 東部調整池	採用	計画路線（橋梁等）の形式・デザイン・色彩を検討することにより、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変、快適性の変化による影響の低減が見込まれることから、本環境保全措置を採用する。
道路付属物（照明ポール、立入防止柵等）の形状、デザイン、色彩の配慮	新鎌ふれあい公園 東部調整池	採用	計画路線の道路付属物の形式・デザイン・色彩を検討することにより、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変、快適性の変化による影響の低減が見込まれることから、本環境保全措置を採用する。

(2) 検討結果の検証

実施事例等により、道路（地表式又は嵩上式）の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場の影響に関して環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断されます。

(3) 検討結果の整理

環境保全措置に採用した「構造物（橋梁等）の形式、デザイン、色彩の配慮」及び「道路付属物（照明ポール、立入防止柵等）の形状、デザイン、色彩の配慮」の効果、実施位置、他の環境への影響について整理した結果を表 10.13.1-8 に示します。

なお、環境保全措置の具体化にあたっては、実施主体である事業者が、事業実施段階において専門家等の意見を聴取しながら適切に行うものとします。

表 10.13.1-8(1) 検討結果の整理

実施内容	種類	構造物（橋梁等）の形式、デザイン、色彩の配慮
	位置	高架区間（新鎌ふれあい公園、東部調整池付近）
環境保全措置の効果		計画路線（高架区間）の形式・デザイン・色彩を検討することにより、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変、快適性の変化による影響の低減が見込まれる。
効果の不確実性		なし
他の環境への影響		景観への影響も低減される。

表 10.13.1-8(2) 検討結果の整理

実施内容	種類	道路付属物（照明ポール、立入防止柵等）の形状、デザイン、色彩の配慮
	位置	照明ポール、その他道路付属物（新鎌ふれあい公園、東部調整池付近）
環境保全措置の効果		計画路線の道路付属物の形式・デザイン・色彩を検討することにより、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変、快適性の変化による影響の低減が見込まれる。
効果の不確実性		なし
他の環境への影響		景観への影響も低減される。

4) 事後調査

予測手法は、都市計画対象道路事業実施区域と主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布範囲の重ね合わせ等による方法であり、予測の不確実性は小さいと考えられることから、事後調査は実施しないものとします。

5) 評価

(1) 回避又は低減に係る評価

計画路線は新設されるものであるため、道路の存在に伴い人と自然との触れ合いの活動の場の変化が新たに生じますが、計画路線は道路の計画段階において、主要な人と自然との触れ合いの活動の場をできる限り回避した計画としており、環境負荷の回避又は低減を図っています。

さらに、環境保全措置として「構造物（橋梁等）の形式、デザイン、色彩の配慮」及び「道路付属物（照明ポール、立入防止柵等）の形状、デザイン、色彩の配慮」を実施することにより、環境影響のできる限り低減を図ります。

このことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価します。